

MT検定 工作機械検定

M A C H I N E T O O L

工作機械って
なに??

第9回(1級~3級) / 受験料無料!!

「工作機械検定(MT検定)」は、一般社団法人日本工作機械工業会が主催する検定試験です。学生や社会人の方々には、工作機械についての見識を深める「向学心」を喚起して頂き、併せて工作機械を全く知らない方にも、ものづくりや工作機械へ興味を持って頂くため、実施するものです。学生の皆さんは就職活動を行う際、履歴書に工作機械検定の取得歴を記載ください。

行ってみて!

PC・スマホで受験できて、その場で合否判定!

JIMTOF2026 学生無料

10/26-31 東京ビッグサイト
<https://www.jimtof.org/jp/index.html>

※受験内容の詳細は裏面をご覧ください

1級・2級 応募期間は、**10/1~12/31**
3級 は通年実施、いつでも受験可能

各級とも合格者には認定証を発行

「トコトンやさしい工作機械の本」 贈呈
【JIMTOF会場限定】

学生の合格者(高専・大学の学生は2級以上の合格者)を対象に、先着
100名様に贈呈!

<場所> 南展示棟4階南4ホール「IMECポスターセッション」案内カウンター
※引き渡しの際、認定証(スマホ画面可)をご提示ください。

JIMTOF会場に来られない学生の方、社会人の方などには、抽選で1~3級合格者を対象に**30名**様に贈呈!

工作機械メーカー訪問先をご紹介します

学生の合格者で希望される方には、
日本工作機械工業会会員企業の訪問先をご紹介します!



スマホは
こちらから!



<https://www.mt-kentei.jp>

【主催】



一般社団法人

日本工作機械工業会

<https://www.jmtba.or.jp>

〈受験内容・レベル〉

1級…

学生の皆さん、工作機械業界や機械系の企業に従事されている方を対象に、難易度を上げた出題内容としています。受験者自ら調べるにより、ものづくりへの興味や理解を深めて頂きたいと存じます。工作機械について知見を深める参考資料としては、「工作機械設計学(基礎編・応用編)」があります。

2級…

工業高校・高専・大学などで機械工学の勉強をされている方、一般の方々を対象に、工作機械の役割や種類、歴史や市場など、幅広い観点から工作機械への知見を深めて頂くため、参考資料集を見て回答できる内容としました。

3級…

小中学生から大人の皆さんまで、ものづくり、工作機械に興味を持って頂くための問題を用意しました。

◆工作機械って、何？ 何に使われているの？

工作機械は、スマートフォンや時計、家電製品・デジタル機器、等に必要な精密部品から、自動車、航空機、船舶などの移動手段、人工骨や人工関節に至るまで様々な製品の一部を作り出し、人々の暮らしを快適・便利にする「ものづくり」のための機械です。

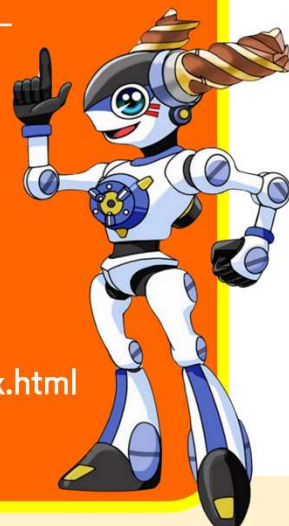
また、機械類を構成する精密で複雑な部品や金型を、正確かつ効率的に作ることも工作機械の役割です。工作機械は、「機械をつくる機械」、「マザーマシン（母なる機械）」ともいわれています。



工作機械・ものづくり関連施設（博物館・資料館等）

- ・ 日本工業大学工業技術博物館
埼玉県・南埼玉郡宮代町 https://hotozero.com/museum/nit_museum/
- ・ 科学博物館
東京都・台東区上野 <https://www.kahaku.go.jp/>
- ・ TEPIA 先端技術館
東京都・港区北青山 <https://www.tepia.jp/exhibition>
- ・ 三共工作機械資料館
静岡県・菊川市 <https://www.sankyo-seisakusho.co.jp/museum/index.html>
- ・ ヤマザキマザック工作機械博物館
岐阜県・美濃加茂市 <https://machine-tools-museum.mazak.com/>

行ってみて！



【一般社団法人日本工作機械工業会（略称：日工会＝につこうかい）とは？】

工作機械産業の総合的発展を図るとともに、関連工業の繁栄と日本経済の振興に寄与することを目的として、1951年12月に創立されました。日工会は、切削型工作機械のメーカー団体ですが工作機械事業に関連する総合的な団体を目指し、2001年よりCAD/CAMなどのソフトウェア事業者、周辺装置メーカーに、2017年からは三次元積層造形装置（3Dプリンタ）メーカーに対しても門戸を開放しました。2026年8月時点の会員数は115社で、会員による工作機械生産額は日本国内生産額（経済産業省：生産動態統計調査）の90%以上を占めるといわれています。

日工会は、各種委員会、研究会等を設置して、工作機械産業の発展のため幅広い事業活動を展開しています。